



謹賀新年

渡辺 たけし



中野区
ファースト

1972年1月12日生まれ、O型
秋田大学教育学部卒業、中学校教諭第一種免許取得、
中野総合政策研究所主任研究員、
一般社団法人 中野区スポーツコミュニティ 代表理事
NPO法人 森林浴音楽会 理事



中野区議会議員渡辺たけし二年間の軌跡

2017 中野区議会 レポート

議会活動

「生活保護ホットライン」を独自に設置



生活保護制度の適正化を目的とし、本当に生活保護を必要としている人や、不正受給をしている人の疑いのある人の情報を三元的に受け付ける窓口として設置。自転車で通院しているにもかかわらず、電車を請求している受給者の情報を得るなど、一定の成果を上げている。

庁内ネットワーク回線の見直し提案



中野区内に約100か所ある区有施設に繋がっているネットワーク回線の見直しを提案したところ、5年契約で古い専用線から新しいVPN回線への切り替えが行われる。一年間で約三七〇〇万円、5年間で約億八五〇〇万円のコストを削減。現状より、低価格で高品質な庁内ネットワークの再構築を実現。

保育園開設時における施設整備費の補助金の引き上げ



賃貸物件の施設整備費の上限を約七千万円から約一億四千万円へ二倍に引き上げる。建設型の物件整備費の上限も八八%から九四%に引き上げ、中野区は保育事業者目線でも一三区でトップクラスの補助金給付をする区となった。現在、様々な保育事業者から保育園開設の持ち込み案件が増えており、待機児童解消の一助となっている。

区立中学校へのICT機器の導入促進を提案



指導用タブレット端末の導入を提案したところ、区立中学校の全教員二七名にタブレット端末が配布されることとなる。また電子黒板や無線LANネットワークの整備にも繋がり、教室内でのグループ・ディスプレイカッション、

地域活動

東中野駅西口駅前の花壇への水やり、清掃活動

(毎週水曜日8:00~8:30)



朝カフェのご案内

渡辺たけしは、毎週水曜日の駅立ち後、東中野駅前にて政治談議にとどまらない様々な情報交換を地域のみなさまと行っています。

主義主張を問わずにどなたでもご参加できます。当日の飛び入りも可能です。お気軽にご参加ください。

毎週水曜日



8:30~10:00

中野区東中野四・四二六
アトレヴィイ東中野二階
(東中野駅前)



☎生活保護適正化ホットライン

080-5958-0292

(時間帯により出られない場合があります)

FAX:03-5343-0715

Eメール:nabetake0112@gmail.com



今年度も継続します

情報をご提供頂いた方の個人情報厳守します。

調査結果などについては、個人情報のため回答することはできませんので、予めご了承ください。



昨年度よりはじめました当ホットラインは、多くの方々より大きな反響をいただいております。渡辺たけしの願いは、生活保護を無くすことではなく、それが適切に正しい使われ方をされることです。多くの方々も自助努力で厳しい生活を営む中、不正に生活保護を受給するようなことは決してあってはならないことだと思っています。今後も中野区から不正受給を一掃するため、区議会議員として戦ってまいりますので、どうぞ、お気軽に情報提供をお願いいたします。



崩壊しつつあるこの制度が日本でも生き抜くために必要

職場が求める人材とは？

終身雇用という制度が崩壊しつつあるこの制度が日本でも生き抜くために必要

景気回復が謳われている理由

景気回復の美感が湧かない理由

なぜ生活保護費が引き下げられるのか

政府は、生活保護費のうち食費や光熱費などに充てる「生活扶助」の削減をすることを決めた。基準額の引き下げ理由は、現行の基準額が、生活保護を受けていない低所得世帯の生活水準を上回るケースが見られたためだ。

ストップ！税金の無駄遣いをなくそう

生活保護の闇を暴く

崩壊しつつあるこの制度が日本でも生き抜くために必要

職場が求める人材とは？

終身雇用という制度が崩壊しつつあるこの制度が日本でも生き抜くために必要

景気回復が謳われている理由

景気回復の美感が湧かない理由

なぜ生活保護費が引き下げられるのか

政府は、生活保護費のうち食費や光熱費などに充てる「生活扶助」の削減をすることを決めた。基準額の引き下げ理由は、現行の基準額が、生活保護を受けていない低所得世帯の生活水準を上回るケースが見られたためだ。

ストップ！税金の無駄遣いをなくそう

生活保護の闇を暴く



貫きます



二〇一八年の決意
私はこれまでの政治活動で政策立案の種は地域の中にあると確信している。生活保護の問題、教育問題、待機児童問題に関わるきつかけとなったのは、全て地域住民の方々からのご意見やご要望からである。引き続き、都民ファーストの一員として都と区の連携が出来る強みを活かしながら、生活保護制度の適正化、待機児童解消、中野区の教育の質の向上に取り組みしていくと同時に、現場の声に真摯に耳を傾け、地域課題解決のための政策立案を行っていくことを、この場をお借りして強く宣言する次第である。

新たな雇用を生み出し、あらゆる仕事に順応出来る人材を一人でも多く生み出していく地域がたくさんある国が、これからのグロバル社会の中で生き残っていくのにはないだろうか。これからの50年後、100年後の日本の未来を見据えながら、理想とすべき地域社会の実現に向けて、様々な行政課題に取り組みしていく所存である。

中野区議会議員 渡辺たけし

